

ラフマニノフ：  
幻想的小品集より  
前奏曲 嬰ハ短調「鐘」Op.3-2

10の前奏曲 Op.23より

- 第1番 嬰ヘ短調
- 第2番 変ロ長調
- 第3番 ニ短調
- 第4番 ニ長調
- 第5番 ト短調

13の前奏曲 Op.32より

- 第5番 ト長調
- 第11番 ロ長調
- 第12番 嬰ト短調

スクリャービン：  
ピアノ・ソナタ第5番 Op.53

ショパン：

12の練習曲 Op.25

- 第1番 変イ長調「エオリアンハーブ」
- 第2番 ヘ短調
- 第3番 ヘ長調
- 第4番 イ短調
- 第5番 ホ短調
- 第6番 嬰ト短調
- 第7番 嬰ハ短調
- 第8番 変ニ長調
- 第9番 変ト長調「蝶々」
- 第10番 ロ短調
- 第11番 イ短調「木枯らし」
- 第12番 ハ短調「大洋」

【使用ピアノ：ファツィオリ F308】

「怪物」と称された天才  
—— ロマン派ピアノリズムの核心に迫る

FAZIOLI

浜離宮

ピアノ・セレクション

HAMARIKYU PIANO SELECTION

# ヴァディム ホロデンコ ピアノ・リサイタル

VADYM  
KHOLODENKO  
Piano Recital

2018 6.26 (火) 19:00 開演 (18:30 開場)

浜離宮朝日ホール

都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅A2出口すぐ

東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社新館2階 TEL.03-5541-8710

全席指定・税込 5,000円 | 2月8日(木)発売 |

※やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございます。曲目の変更に伴う払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。  
※未成年者の入場はご遠慮いただいております。幼児サービスをご利用ください。イベント幼児 マガズ(要予約) 0120-788-222

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日祝除く10:00-18:00)

朝日ホール・チケットセンター

日本アーティストチケットセンター 03-5305-4545 (土日祝除く10:00-18:00)

日本アーティスト

イープラス <http://eplus.jp/>

ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター/10:00-20:00) <http://l-tike.com/>  
0570-084-003 (Lコード:33009 自動音声対応24時間)

問い合わせ：朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日祝除く10:00-18:00)

# VADYIM KHOLODENKO

## Piano Recital

2010年第4回仙台国際、2013年ヴァン・クライバーンともに審査員を務めました。ホロデンコはどちらもダントツでした。音の質がとにかく素晴らしい。最強音を出しても柔らかさがあり、聴いていて喜びを覚えました。コンチェルトでは、自分が思う音をオーケストラにも出させてしまうような見事なアンサンブル。ずば抜けて洗練されていました。

今回は、彼の美点が120%出るプログラムだと思います。ウクライナで生まれ、モスクワで学んだ彼にとって、ロシア作品はお国もの。ショパンのエチュードは、一曲ごとの詩を、彼の洗練された技術でどのように展開するかが聴きどころでしょう。核心に迫る演奏が聴けるのではないのでしょうか。

——野島稔 (ピアニスト)

### ヴァディム・ホロデンコ(ピアノ) Vadym Kholodenko, Piano

1986年ウクライナ、キエフ生まれ。M.ルイセンコ記念キエフ音楽中等学校でナタリア・グルイドネワとボリス・フォードロフに、2005年よりモスクワ音楽院で名教授ヴェラ・ゴルノスタエヴァに師事。2004年、18歳にしてマリア・カラス国際音楽コンクールでグランプリを受賞。2010年第4回仙台国際音楽コンクール優勝、2011年シュベルト国際ピアノコンクールでの優勝に続き、2013年にはヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで最優秀室内楽賞と最優秀新作賞もさらい、圧倒的な優勝を果たす。その「秀でた音楽性、完璧な技術と洗練された深い音の陰影、輝かしく想像豊かな解釈」で「新星現る」と世界的に大きな注目を浴びた。2019年開催の第7回仙台国際音楽コンクールに、同コンクール優勝者としては初めての審査員に抜擢された。

ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール優勝直後の2014年に、フォートワース交響楽団にとっては初の「パートナー・アーティスト」の地位を与えられ、同交響楽団と3年の間プロコフィエフの全協奏曲の演奏とCD録音を行った。2013年にはマリンスキー・コンサートホールのレジデント・ピアニストとなり、ヴァレリー・ゲルギエフにより「今月のアーティスト」に選ばれた。

精力的にコンサート活動を行い、全米の各地で頻繁にリサイタル、各都市オーケストラとの共演を行うとともに、ヨーロッパ各国、中国、日本、シンガポール、南米など世界各地でリサイタル、オーケストラのソリストとしてツアーを行い、「最も才能のある現代のピアニストの一人」との評価を得ている。

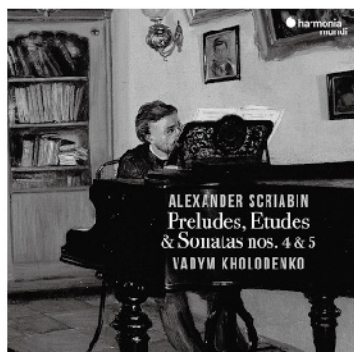
2016/17シーズンにはゲルギエフ指揮のマリンスキー劇場管弦楽団とフィルハーモニー・ド・バリのデビューを、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団とロンドンのデビューを果たした。その他、BBCスコティッシュ交響楽団、ルクセンブルク・フィルハーモニー管弦楽団、ノルウェー放送管弦楽団、ブラハ交響楽団、スペイン放送交響楽団など、ヨーロッパの主要オーケストラと共演を重ねている。フライブルグ国際ピアノシリーズにて「アーティスト・イン・レジデンス」の地位を2016年より得ている。室内楽にも力を入れ、ユーリ・バジュメットとは多くの共演を重ねている。

作曲にも余念がなく、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールの決勝ラウンドでは、モスクワからの飛行機内で作曲したモーツァルトの協奏曲第21番のカデンツァを初演した。コンサートでも自身の編曲をアンコールで弾くことが多い。

これまで多くのCDを出している。2013年には、ハルモニア・ムンディから「純金」と称された、リストの超絶技巧練習曲全曲を含むCDがリリースされた。2015年にリリースされたノルウェー放送管弦楽団と共演のグリーグ及びサン＝サーンスのピアノ協奏曲のCDは、グラモフォン誌のエディターズ・チョイスを受賞。「真の傑出作品」と称された。プロコフィエフの協奏曲シリーズ第1巻もグラモフォン誌より絶賛された。今後同シリーズの第2巻とオール・スクリャーピンCDがリリースされる予定。

公式サイト: <http://vadymkholodenko.com>

### ホロデンコの暗い情念とファツィオリの明るい音色が生む不思議な世界



#### スクリャーピン:

6つの前奏曲 Op.13  
5つの前奏曲 Op.16  
ピアノ・ソナタ第4番嬰へ長調 Op.30  
悲劇的な詩 Op.34  
悪魔的な詩 Op.36  
8つの練習曲 Op.42  
ピアノ・ソナタ第5番 Op.53  
詩曲「焔に向かって」 Op.72

ヴァディム・ホロデンコ(ピアノ)

録音: 2017年9月13-14日  
ファツィオリ・コンサート・ホール(サチーレ、イタリア) (ライブ)

CD HMM 902255 [直輸入盤・オープン価格]

最新盤  
公演曲目

ストラヴィンスキー: ベルレーシュカからの三章  
リスト: 超絶技巧練習曲集 (全12曲)

ヴァディム・ホロデンコ(ピアノ)  
録音: 2013年5月28日、6月3日(コンクールのライブ)  
CD HMU 907605 [直輸入盤・オープン価格]

グリーグ: ピアノ協奏曲 イ短調 op.16  
サン＝サーンス: ピアノ協奏曲第2番 ト短調 op.22  
ヴァディム・ホロデンコ(ピアノ)  
ノルウェー放送交響楽団 ミゲル・ハース＝ベドヤ(指揮)  
録音: 2014年8、9月  
CD HMU 907629 [直輸入盤・オープン価格]

プロコフィエフ: ピアノ協奏曲第2番ト短調 op.16、第5番ト長調 op.55  
ヴァディム・ホロデンコ(ピアノ)  
ミゲル・ハース＝ベドヤ(指揮) フォートワース管弦楽団  
録音: 2014年10月、2015年3月  
CD HMU 807631 (SACD ハイブリッド) [直輸入盤・オープン価格]

harmonia mundi